出ていけっ！
ドカッ！！
ぐ…っ！
クソッ……
ここもダメ……
この町で、まだ出禁に
なってない娼館は……
やっぱ、
もうねぇか

今日はいつもより
ムラムラしていた

仕事がうまくいかない
ストレスが募っていた
のかもしれない

仕方なく継いだ革職人の仕事も
最近めっきり依頼が減った

持ち金は少ない、
しかし性欲は有り余る一方で

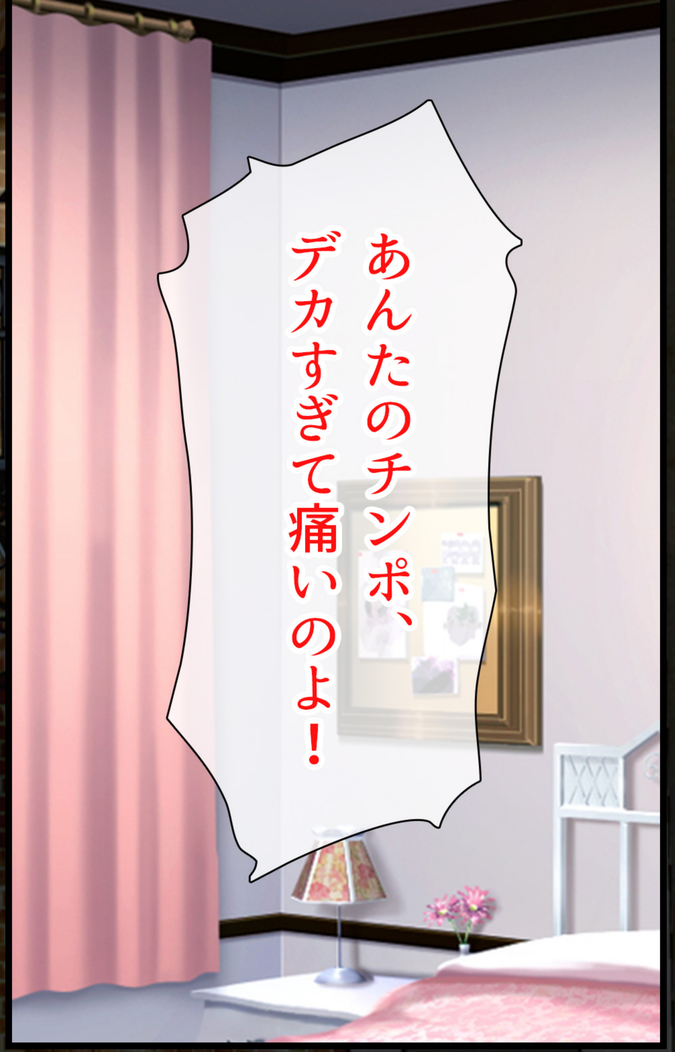
ストレス解消のために定期的に
娼館に行くものの……

家にあるありったけの
金を持ってココまで来たのに…

一回も本番なしに
店から追い出されたっ！

トボ
トボ…

何故追い出されたのかと言えば……



『チンポがでかすぎる』

たったこれだけの理由で、
俺は街中の娼館で一番の
嫌われものになった

セックスがしたい……
オナニーじゃなくて、女とセックスがしたい！
クソッ……チンポがでかくて何が悪いんだよ！
こっちはムラムラして気が狂いそうだってのに……
それを癒してくれるのがお前ら娼婦の仕事じゃねえのか!?

ちょっと
そこのお兄さん
……なんだ？
あんたが店から
追い出されるのを見たよ
相当ムラムラしてる
みたいだねぇ
なんだよ、
バカにしてんのか！
ヒッ！
違う違う、
良い話があるんだ

良い話？
男の話を聞いてみると、
なにやら今日は『奴隷市場』が
開かれているらしい
街一番の風俗店に行ける
だけの金があるなら、
安い奴隷一人くらい
買えると思うよ
それとも帰って
オナニーするかい？

……
行ってみるか

男に誘われるままついていくと
謎の建物へと通される

まぁ、
そうだよな……

ガリガリにやせ細った女たちが
汚い床に座らされ売られていた

おっぱいがでかくて抱き心地の
よさそうな奴隷なんかいないか……

しかし、どうせ街の娼館は
全部出禁にされている

この中から良さげなのを探すしか…
でもそんなやついるわけ…

ん？

いた！
部屋の隅の方で
座り込んでいる
胸もでかくて、
ムチムチで、
顔も可愛かったが
他の奴隷たちとは
なんだか少し雰囲気が違った
じー…
つまらなそうに部屋の隅っこを
じーっと見ている

目が合った
……
じぃ…
買ってくださいとか
言われるんだろうか？

な…！
ぷるん。

その奴隷はあろうことか、
服をめくってこちらに
アピールをしてきた
……
やわらかそうな肌、
ぷっくりした乳首、
つるつるの
パイパンまんこ…
プルン♡
これが手に入るなら、
俺の好きにして
いいのなら……
お
ちぃ…♡

この奴隷、
買います

勢いでこの奴隷を
買い付けてしまったが、
破格の値段だった
全財産つぎ込む必要もなく、
むしろ少し金が余って
しまったくらいだった
新しい
ご主人さま……
ふる
レイは……
なにをすればいいですか？
ふる…
奴隷にしてはやけに
ムチムチでエロい体付き……
どうしてこんな上物が、
高級娼館数回分くらいの
値段で手に入ったんだ？

そんなのはどうでもいい、
もう破裂寸前だ……！

どきっ！

きゃっ！
ご主人さま……!?

お前は今日から俺の奴隷だ
肉便器だ
わかったらとっととしゃぶれ！
ボロンッ
ううっ…
な、舐めればいいのですか？

お前本当に奴隷だったのか？
チンポ出されたらこうやって咥えるんだよ！
ずぼっ！
むぐぐっ！

レイの口にチンポを突っ込む。
抵抗を感じたが、気にせず口の奥まで差し込む。

ぐぐぐ……!!!
ぐぐぐ……!!!
ぐぐぐ……!!!
はぁ♡
おお。
なかなか、悪くない
じゃねえか……
はぁ♡
レイの口の中は
とにかく柔らかかった
しっとりと濡れていて、
チンポがふわふわと包まれる
じゅぼっ
じゅぼっ
じゅぼっ
じゅぼっ
じゅぼっ

楽しませて
もらうぜ……！

ボ

ズ

レイの頭を掴み、
思い切り腰を突き出す

イラマチオだ！

んづッ!!?っっ
んんんっ…!!

んづづづづっ

俺のデカすぎる
チンポを咥えさせられるのは
地獄の苦しみだろう
レイは苦し気な声を出しているが、
構わずにイラマチオを続ける

はぁ、はぁ、
はぁ……！
んぐっ……!!
ズポッ
ズポッ
ズポッ
ズポッ
ズポッ
ズポッ
口の中が更に湿ってきた。
体を守るために、
唾液を出しているのだろう
チンポの滑りが更に増して、
腰の動きが加速する

動きが止められない。
睾丸から熱いものが
上がってくるのを感じる
はぁはぁはぁ……
そ、そろそろ、
出すぞ……！
レイの抵抗が増して、
首が『イヤイヤ』するように
左右に振られる
だが、構うものか
んっ、んんっ!!

いくぞ！
受け止めろ！

ぐぐ…っ

んッ!?
んんんん…!!

うぅっ
射精でるっ!!!

ぢゅぷ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
ぢゅぷ

ビュルルル

ん……っ、
ん、んん……
チンポから精液が流れ出る。
自分でも驚くほどの射精量だった
喉奥に向けて発射したはずなのに、
もう口の端から漏れてしまっている

へへ。
なかなかいい具合
じゃねえか。お前
はぁ♡
はぁ♡
お前を買って
よかったぜ……
……
はぁ♡
じゅる…

レイが黙った

ふ〜♪

ずるるる…

ふ〜♪

精液を流し込まれて
苦しんでいるのかと
思ったが……違った

目がとろんと
していて……頬が赤い
なんだか、
それは……

ふ〜♪

ご主人さまは……

たらぁ…♡

お、おい……？

はぁ♪

にゃあ…♡

はぁ♪

激しめのご奉仕を、
お望み、なんですね…♪

ん……おちんちん、
まだおっきいまま……
素敵ですね、
ご主人さま……♪
ふ～
ふ～
お、お前、
なにを……!?

えいっ♥

うぅ……っ!?

ぎゅ♪

ぎゅ

にぃ…♪

レイが、自分の胸を
手で抱えると……

俺のチンポを
挟んできた……!

ご主人さま？
パ・イ・ズ・リ、です♪
こういうの、お好きだと
思ったんですけど……
どうですか？
ふ～
ふ～
お、お前……
むにゅん♥
むにゅ…♥
むにゅ
固いままのチンポが、
巨乳に包まれる。
口の中とは違う柔らかさだが……
まるで、チンポ全体に
吸い付いてくるような
モチモチ感だった。

では……パイズリご奉仕、
させていただきますね……♪

う、うぅ……っ!?

はぁ♡

はっ♡

はぁ♡

レイはよだれを垂らし、
豊満で柔らかなおっぱいに
それを絡ませた

そして両手でおっぱいを持ち、
チンコを挟んで扱き始める

チンポを抱きしめるような、
慈愛を感じるはずの
プレイなのに……
責め立てられている
気がするのは、何故だろう？
ずーり、ずーり、
おちんちん、ずり、
ずり、ずり♥
ずーりずり、
ずーりずり……♥
ぬーちゅぬちゅ、
ぬーちゅぬちゅっ♥
ご主人さまの
おちんちん、ずーりゅ
ずーりゅ、ずりゅっ♥
ズリ♡
ズリ♡
ズリ♡
ズリ♡
ズリ♡

ん……♥
ご主人さまのおちんちん、
おっぱいの中で、
ビクビクしてます……♪
ビクッビクッ
動き、変えますよー♥
今度は、左右のおっぱいを、
交互にぃ……♥
ずっちゅ、ずっちゅ♪
レイはどこか楽しげだ
イラマチオのときの、
加虐心を煽るような、
不安げな表情は見る影もない

前の主人に
仕込まれたのだろうか？
パイズリのときは、
楽しそうにするように
言われたのか？
だが……
これが彼女の素のようにも
見えるのは、気のせいだろうか？
おちんちん、
おっぱいの中で
不安そうに
ぶるぶる震えて……♥
可愛いです……♪
すこっ
すこっ
すこっ
すこっ
すこっ

そういえば、女の子から
攻められるなんて、初めてだ
チンポの大きさのせいで、
誰も自分から奉仕など
してくれなかった
その驚きもあって、
抵抗する気が起きない
ずりゅ
ずりゅ
ずりゅ
ずりゅ
ずりゅ
ずーり、ずーり♪
ずりずりずりー♪
何よりも……
彼女のパイズリは、
とてつもなく気持ちよかった

んふふ♥
おちんちんの先っぽ、
ぷくって膨らんで
きました……♪

イキそうですか？
精液、びゅるびゅる
しちゃいそうですかぁ？

イッちゃえ、
イッちゃえ、
ご主人さま～♪

ぎゅぎゅ

金玉からあっという間に
精液があがってくる……！

う、うぅ、
うぅぅ……！

あああああああッ！

ん……♥
ふぁあっ♥
精液、きたぁ……♥
ぴゅっぴゅ、たくさぁん……♥
二回目なのに、すごいです、
ご主人さまぁ……♥
いっぱい出ましたね……♥
見てください。おっぱい、
どろどろぉ……♥
レイのパイズリで、
気持ちよくなってくれて……
嬉しいです♥
ご主人さま……♥
どろ
お……

でも……おちんちん、固いまま……
ほんとにすごいですね、ご主人さま……
んはぁ～♡
くちゅっ♡
だったら……まだまだ、イケそうですね？
あはっ♥
そう言うと、レイは……

えーいっ♥
レイが、俺の体の上に乗って……
股間を向けてきたのだ……！
んん……っ!?

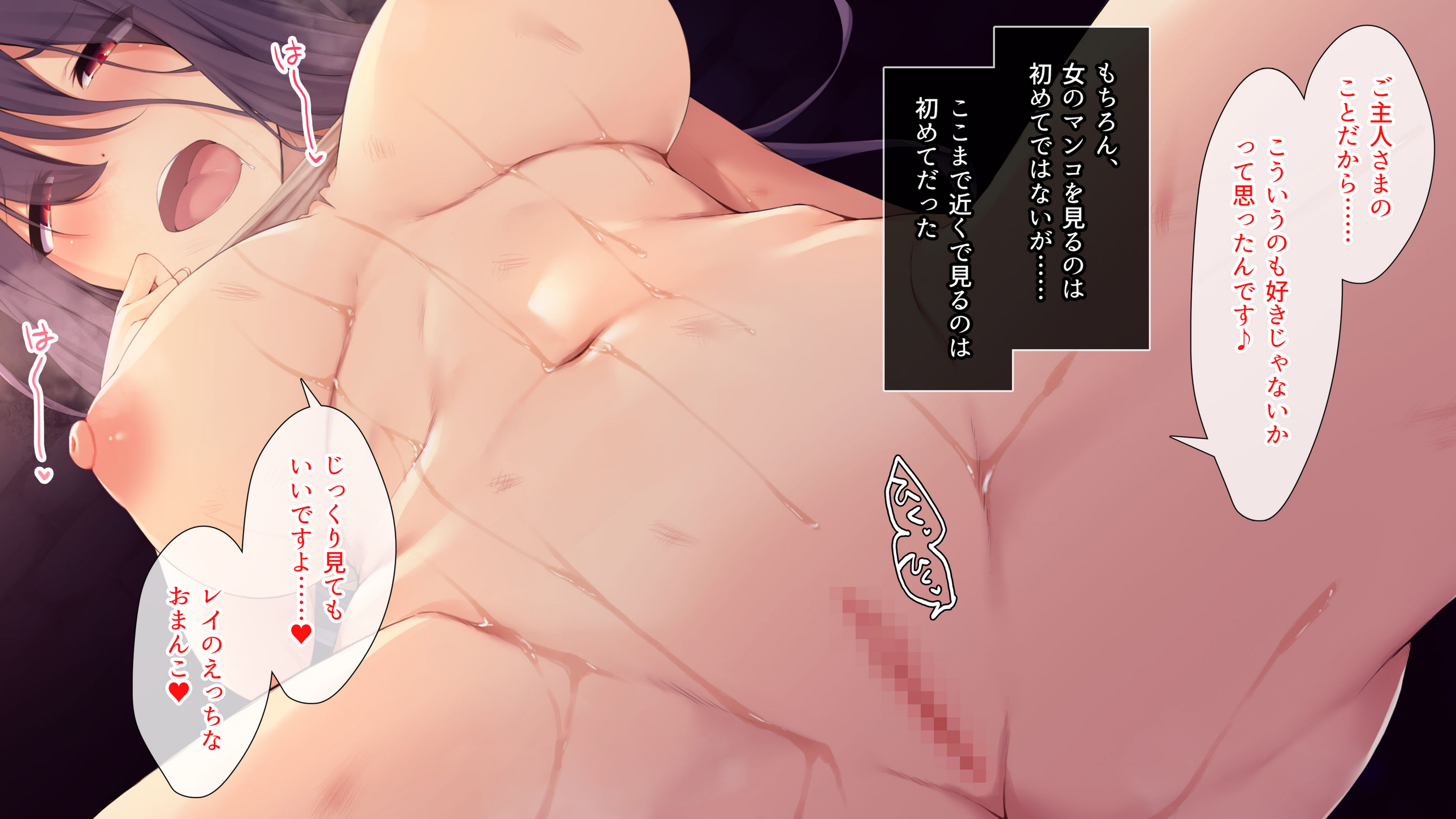
あはっ♥
ご主人さま……♥
いかがですかぁ？
レイの……
お・ま・ん・こ♥

う、うぅ……!?

俺の視界が、全てレイの
マンコで埋め尽くされる

性奴隷なのだから、
数々のチンポを
ハメてきただろう

マンコは……意外にも綺麗だった。
くすみのないピンク色だ



ご主人さまのことだから……
こういうのも好きじゃないかって思ったんです♪
もちろん、女のマンコを見るのは初めてではないが……
ここまで近くで見るのは初めてだった
ひくっ ひくっ
はーー♪
はーー♥
じっくり見てもいいですよ……♥
レイのえっちなおまんこ♥

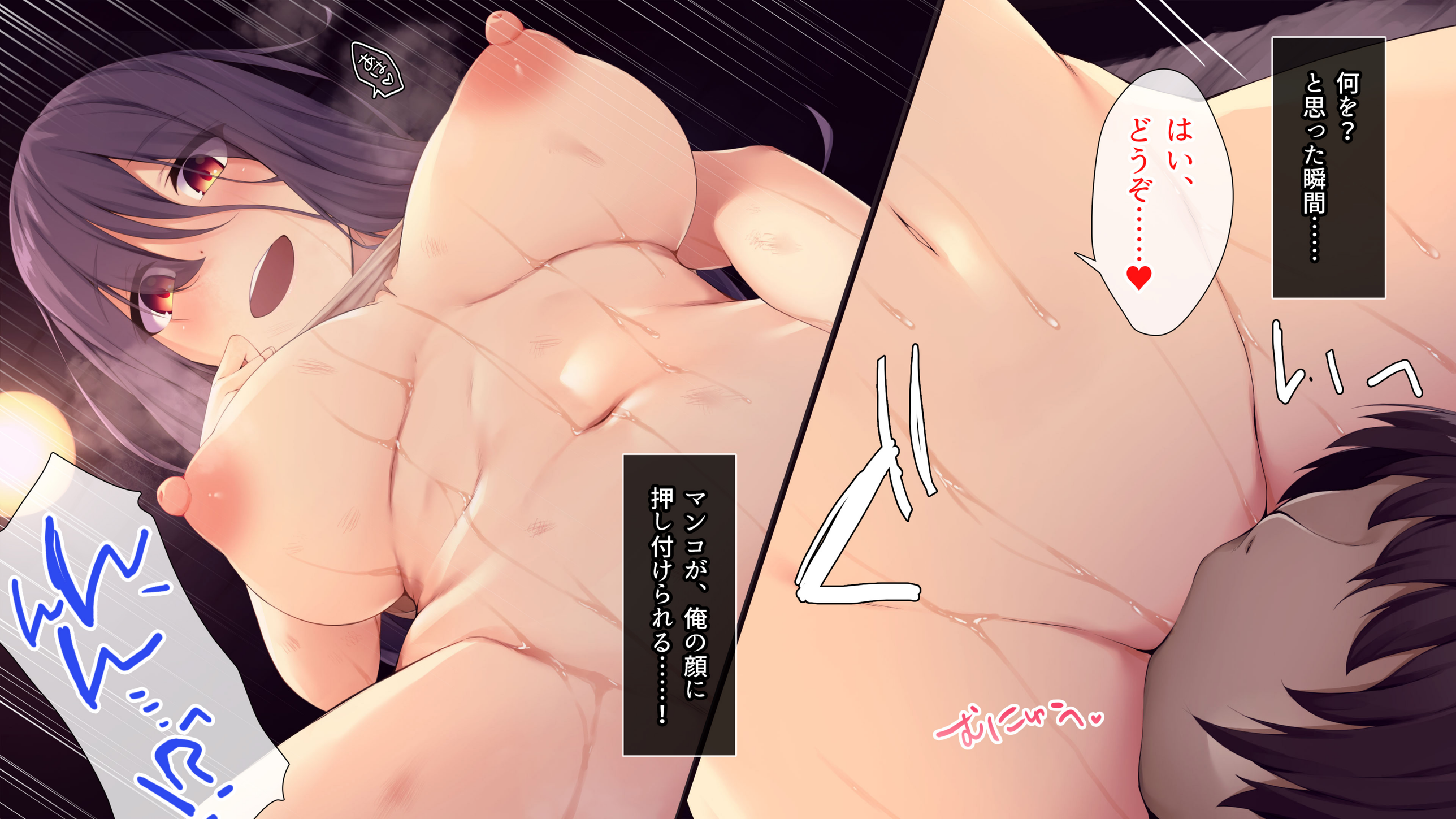
ほらぁ……♥
見て……レイのおまんこ♥
もっと、見てぇ……♥
レイが、マンコを
左右に開く
ピンと勃った
クリトリスも……
チンポを入れる
穴も丸見えだ
だ～
だ～
だ～

レイのマンコは……
トロトロに蕩けていた

興奮……しているのか？
乳首も…ピンと勃っていた

ご主人さま♥

せっかくですから…
お召し上がりに
なってください♥


何を？
と思った瞬間……
はい、
どうぞ……♥
むにゅ～♥
マンコが、俺の顔に
押し付けられる……！

濡れた肉の感覚と、
温かい愛液が俺を襲う
ふふ♥
『奴隷』に……
なるんでしょう……♥
……何か、含みのある
言い方だった

ほら、ご主人さま……♥
奴隷まんこ、
舐めてください……♥
俺は舌を差し出した。
そうしなければ息が
できなかったからだが……
濃厚な雌の匂いに、
体が無意識に反応していた
ピチャ
ピチャ
ピチャ

んっ、
はぁああ……っ♥
ご主人、さまぁ……♥
いいっ♥
いい、です……♥
マンコのスジに沿って
舌を這わせて、
クリトリスをつつく。
レイが体を
反らせて喜ぶ

それ、すごく、感じます…♥
おまんこ、もっと、濡れちゃう……♥
ぬぢゅ
んん……！
口の中に愛液が更に流れ込んでくる
ぴちゃ
ぴちゃ。ぴちゃ。
レイの味で舌が満たされる

レイの体が
震えて……

俺の顔に大量の
愛液がかかった

レイは快楽の余韻に
浸っているのか、
顔がとろけている

その顔は、少しだけ
カワイイと思った

はぁ、はぁ、はぁ……♥
ご主人、さまぁ……♥

気持ちよくしてくれて、
ありがとうございます…♥

……ふふ♥
ご主人さまのおちんちんも、
また大きくなってますね……♥

おまんこ舐めて……
興奮しちゃったんですかぁ…♥

くす…♪ くす…♪

ぢゃ♪

ぢゃ♪

ぢゃ♪

気付けば、俺のチンポは
興奮を取り戻していた

このマンコに、
早く入れたい……！

じゃあ……お返し、
しないといけないですね……

ヒク♡

ヒク…♡

ヒク♡

レイが……騎乗位の
体勢になった

チンポに、濡れてトロけた
マンコが押し付けられる

よーいしょ……♥

入れたい！
早く！　早く！
ヒクヒク…
ヒクヒク…
ヒクヒク…

あっ♡あッ
ふあああああ…♡

チンポが、温かな肉に
包み込まれていく……

……が……！

めっぷぷ

ぷぷ…♡

はーーー…
すご、お……♥
お腹、突き破られちゃいそぉ……♥
お尻ぃ……♥
全部…♥
はーーー♥
入っていたのは……
尻の中
アナルだった
入りましたよぉ……♥

な、何してやがる！
俺は、マンコの中に……！

あれあれ？
そんなこと言っていいんですかぁ？
レイのアナル……
すごいですよぉ……♥

アッ、アナルだって……っ!?

あはっ♥
そーですよぉ、ご主人さまぁ♥

まさか……
おまんこだと思ってました？

騙されちゃってカワイイ～♥

思わず惚けた
声が出てしまう

チンポが、ものすごい力で
締め付けられた

アナルの肉が、
一斉にチンポに
絡みついてきたのだ

あッ、
あぁ…ッ!!

ねぇ？
気持ちいいでしょう？
レイの……アナル♥
ゆさっ
動きますね……♥
んっ、んっ、ん……♥
ゆさっ
う、
うぅ……っ!?
レイが腰を
振り始める
根元を握り込まれながら
扱かれているような強烈な
締め付けが、チンポを襲う
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ

その反応だと……
ご主人さま、
アナルセックスなんて、
したことない
みたいですねぇ……♥
ぱち
ぱち
ぱち
アナル童貞卒業、
おめでとう
ございます～♥
レイのキツキツアナルで
卒業できるなんて、
ラッキーですよぉ♥
あはっ♥
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ

ほらっ♥
ほらほら♥
ご主人さまっ♥
おちんちんっ、
気持ちよくなって
ください♥
まだ締め付け
ちゃいますよぉー♥
う、ああ…!!!
あっという間に、
金玉から精子が
せりあがってくる……！

気付けば、思い切り
アナルに精液を放っていた
金玉の中身が根こそぎ
搾り取られるような快楽――
イクッ
イクッ
イクッ

全て出し尽くした
チンポが、ずるりと
アナルから抜け落ちる

アナル…
出し…
すごぉ…

レイのアナルは、空気と精液を同時にひり出し
排泄とはまた違う、汚くも生々しい、淫猥な音を出していた
はぁ
あはぁ……♥
お腹、いっぱいです、ご主人さまぁ……♥
レイも……アナル、とっても気持ちよかったです……♥

なんだこいつは…
俺のデカいチンコを
もろともしない
街中の娼館から
出禁になるほどの
大きさの筈なのに
奴隷だから
アナルも調教済み
ってわけか
クソッ
奴隷のくせに
主人である俺をさんざん
バカにしやがって…！
明日はマンコの方を
めちゃくちゃに
犯してやる…！

翌日……

レイは、アナルセックスをしたときとは打って変わって、初めて出会ったときのような、不安げな表情に戻っていた

おずおずと頷くレイ。
一体、どっちが本当のレイなんだ？

まあいい
さっさと咥えろ！
チンポを取り出していると、
レイが話しかけてきた
でしたら、
ご主人さま
口や手じゃなくて……
もっと気持ちいい
やり方がありますよ？
なんだ？
怪しい…
ゴソゴソ…
ゆらぁ…

レイの表情は
自信満々だ
きっと何か
企んでいるに
違いない
昨日みたいに
俺を好き勝手
するつもりだな
認めない
俺がこの奴隷の
ご主人様なのだから
気持ち良いと言っても
どうせ大したことないだろう

レイは俺の
背後へと回ると
ご主人さま。
失礼しますねえ…♥
ぎゅ…
おい、なんだ、
この姿勢は？
一体何を……
恋人にするみたいに
優しく抱きしめてきて――

……えいっ♥
スチャッ
チンポを、
足で挟んできた……！

そのまま後ろから、
ぐにぐにと足でチンポを弄ぶ
チンポを足蹴にする……だと!?
ふ、ふざけるな！
こんな奉仕があるか！
ぐにぐに
ぐにぐに
ぐにぐに

ほぉーら。
こきこき、
こき、こき……♥
すりすりっ♥
すりすりっ♥
すりすりっ♥
すりすりっ♥
すりすりっ♥
すりすりっ♥
すりすりっ♥
レイの小さい足が、
俺のチンポを包み込み
そのまま、上下に
擦り合わせて刺激してくる
痛くはなかった。
それどころか……
気持ちよかった

ふ、ふざけるな！
お前、こんなことして、
ただで済むと……！
……ふふ♥
うっ!?
ナデナデ
ナデナデ
ナデナデ

ふ、ふざけるな……！
お、お前……！
んんっ!?
サワッ
サワッ
サワッ
カリッ
カリッ
あはっ♥
女の子みたいに、体、
ビクってさせましたねぇ～♥
感じちゃってるんですかぁ？
ち・く・び♥
すーっ
すーっ
すーっ
すーっ

うぁぁぁ…!!!
乳首と足コキの二点責め
屈辱だ…たかが奴隷なんかにこんなことをされるなんて
なのに……どうして、抵抗できないんだ……!?

それはね……♥

ご主人さまがぁ……

実は、いじめられるのが
好きだからですよぉ……♥

足でおちんちん踏まれて…
乳首、イジられて
感じちゃってるんです…

本当は…女の子に、
レイに責められるのが
好きなんです♥

ご主人さまは……
ド変態の、マゾ豚
なんですよぉ……♥

耳元で囁かれると、
チンポが熱くなってくる
う、うう……！
すーっ
すーっ
すーっ

おっ!!
おおおお…!!!
あーっ♥
すごぉい……♥
足の裏で、おちんちん
びくびくってぇ……♥
朝一番の、濃厚精液…♥
ご主人様も、レイの足も…♥
ぐちょぐちょです…♥
こしゅこしゅ…!!!

イカされて
しまった……
なすすべも
なく……
俺が、マゾなわけが
ないのに……
まだまだ、
これから
ですよぉ……♥
レイの笑顔はいつの間にか、
昨日のものと同じ、
妖しい笑顔になっていた……

今度は……
こういう体勢で
ご奉仕させて
もらいますねぇ……♥
ふ～
ふ～
ダメだ。他の女相手なら、
いくらでも力尽くで
押し倒せるのに……
コイツ相手だと、
抵抗する力が
なくなっていく……！
ロール

れろ～～～♥
な、なにを……っ!?
それからぁ……♥
んぅ～……♥
れろ、んちゅ、んちゅう、れろ、れろぉ……♥
あろうことか、レイは…
俺の尻の穴を舐め始めた……！

んぅ…
分かりませんか？
ア・ナ・ル・な・め♥
これも、奴隷のご奉仕ですよぉ……♥
アナルぺろぺろしながら、おちんちん、いっぱいしこしこしますねぇ……♥
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ

ん れてっ れろ♡
ちゅ れてっ♡ ちゅ

一応、毎日洗ってはいるが……それでも、尻の穴は決して綺麗とは言えない

なのにレイは、少しの躊躇もなく、アナルを舐め続ける

アナルに舌を差し込み、容赦なく中をほじって刺激してくる

初めて味わう快楽だった

気持ちよさそうですね～♥
アナルペロペロされて感じちゃうご主人さま、可愛い……♥
あはっ♥
タマタマ、ぷっくり膨らんでます♥
加えて、レイは手で金玉まで揉んできた
アナルと手コキ。
そして、金玉の三点責め
あっ、お、おおお!!!

もうダメだ。
自分でも驚くほど早く、
射精の気配が近づいてくる

気づいた頃には、
思い切り射精していた。
一回目とまったく変わらない
量の射精だった
俺の腹の上に、びちゃびちゃと
精液がかかる。だが、
それもあまり気にならない
ん……♡
あぁぁぁぁぁ

すごい……♥
いっぱいです……♥
レイのご奉仕……
気に入っていただけ
たんですね……♥
快楽で頭が
ぼーっとする
気持ちいい……
このまま快楽の余韻を
味わっていたい……

ご主人さま。
体勢、変えて
いただけますか？
いや、一旦
休憩……
ダメです♥
今度は、四つん這いに
なってください……♥

主人が四つん這いに
させられるなんて。屈辱だ
けど、俺は言うことに
従ってしまう……
ふふっ♥
おちんちん、まだまだ
おっきいまま……♥
それに、ご主人さまの
可愛いお尻の穴……♥
ヒクヒクしてる……♥
ご奉仕、いっぱいして
あげますねぇ……♥
なでなで

レイが、足の間から
チンポを引き寄せて…

…咥えてきた

うあああぁっ!!!

れてぇ〜〜〜♡

執拗にアナルを
責め立てていた
先ほどとは違って、
このフェラチオは
少し優しめだった
亀頭が、ねっとりと
柔らかな口元に
包まれる……

はぁ……♥
ふふ♥
お掃除はこれで終わりです♥
……え？
次は……ほ・ん・ば・ん♥
あ～ん……

責めが一気に変わった。
唇をすぼめて、亀頭を
念入りに攻められる
ぢゅぢゅぢゅ
ぢゅぢゅぢゅ
ぢゅぢゅぢゅ

敏感な亀頭を徹底的に責められて、声が漏れる
さっきは、精液で濡れたチンポを掃除していただけだったのだ……！
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ

あぁぁぁ!?
ふふっ♥
これだけじゃないですよぉ……♥
尻の穴に強い異物感を覚える。
一体なんだ!?

そーれ♥

ご主人さまの、可愛い可愛いお尻の穴を……じゅぽじゅぽじゅぽー♥

レイは……俺の尻穴に、指を入れていた……！

今度こそ抵抗しようとしたが、そのたびに、尻の中で指が蠢く。悲鳴で言葉を話せなくなる

ここ、『前立腺』っていってぇ……♥
男の人でもえっちに感じちゃう、性感があるんですよぉ……♥
ぬほっ♡
ぬほっ♡
ぬほっ♡
ぬほっ♡
ぬほっ♡
ご主人さま……変態でマゾだから、感じるかなぁって……♥
ふざけるな……んあああっ!?

亀頭を責められながら、
肛門を弄られる。
体から力が抜ける
ぬぽっ♡
ぬぽっ♡
ふぐ～
ぬぽっ♡
あはぁっ♥
さっき以上に、
女の子みたいですよぉ、
ご主人さまぁ♥
じゅぽっ♡
じゅぽっ♡
じゅぽっ♡
ふぐ～
情けなくて……
可愛いですよぉ……♥
レイが亀頭を強く吸い、
舌で鈴口を撫で、
射精をねだってくる

体が熱くなる。
だが、チンポの
射精感ではない
これは…っ！
ガクッ
ぬぽっ♡
ぬぽっ♡
ぬぽっ♡
ぬぽっ♡
ぬぽっ♡
ぬぽっ♡
ガクッ
ガクッ
いっちゃえ……♥
ご立派な巨根の
ご主人さま……♥
女の子みたいに、
メスイキしちゃえ……っ♥

ヒクッ!!
ヒクッ!!
ヒクッ!!

レイの口内に、チンポから精液が噴き出る
だが……いつもと雰囲気が違った
おぉおぉおぉ!!
ふぁぁ……♥まだ、おちんちんミルク、濃い……♥
ビュ
ビュルルルル
ビュルルルル
ビュルルルル

まるで、失禁したかのような射精だった

肛門への刺激で、精液を垂れ流した感覚

訳が分からない。屈辱だ

あれ？ご主人様？

ぬち♡

ぬち♡

ご主人様～

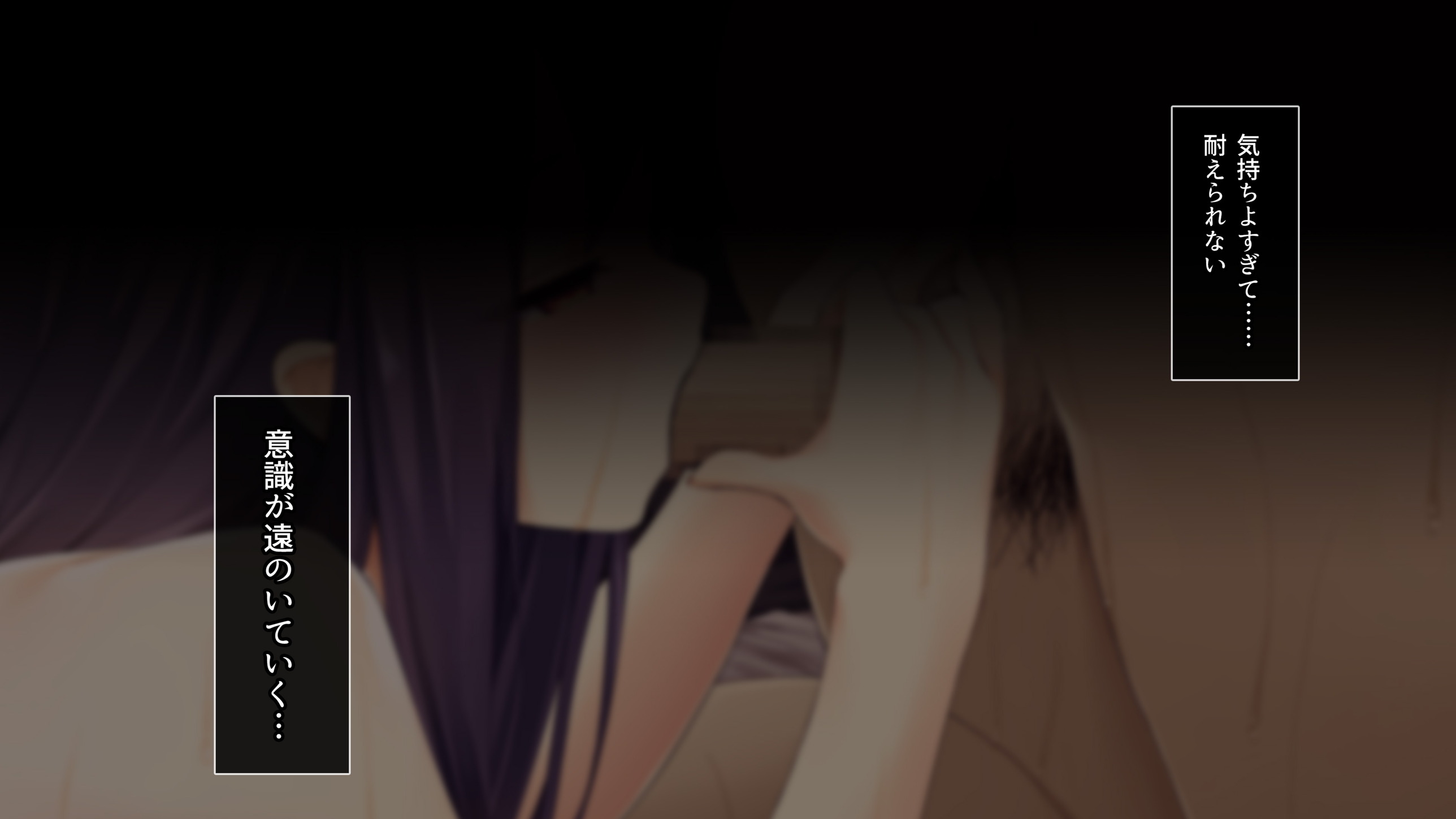
ちゅぽ…♡

ちゅぽ…♡

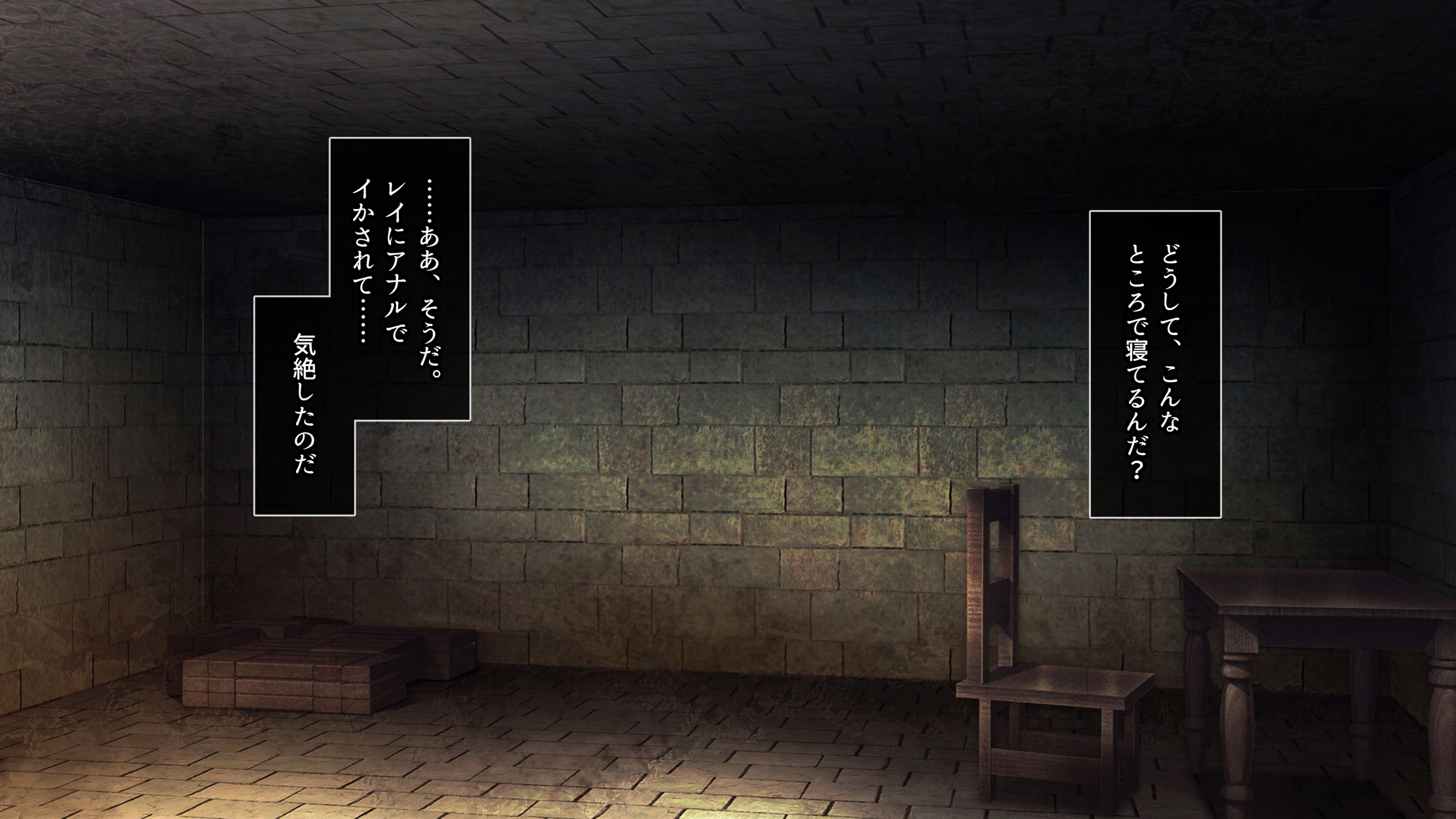
ちゅぽ…♡

……ご主人様～？

なのに死ぬほど気持ちいい。俺は……


気持ちよすぎて……
耐えられない
意識が遠のいていく…

ぅ……


どうして、こんな
ところで寝てるんだ？
……ああ、そうだ。
レイにアナルで
イかされて……
気絶したのだ

あ……ご主人、さま……
大丈夫……ですか……？
……大丈夫なわけあるか
声に怒りを込める

ごめんなさい……。
申し訳ありません、
ご主人さま……
少し……やりすぎて
しまいました……
今のレイには、
俺を責めまくっていた
ときの雰囲気はなく、
ただただ、
しおらしかった
本当に、すみません。
もうしないから、
許してください
捨てないで……

俺にぎゅっと
すがりついてくる
健気だ。さっきまでの
妖しい笑顔は、
見る影もない
……認めたくはないが、
めちゃくちゃ気持ち
よかったのは確かだ
奴隷なのに、主人である
俺を舐めるような言動は
気にかかるが……
……
……レイは、俺の
チンポをしっかりと
受け入れてくれた
他の女とは違う。
俺を必要として
くれていた……

捨てないよ
え……？
捨てたりしない
ぽふっ…
レイの頭を撫でる

あ……
……ありがとうございます
えへへ…
安心したように笑った。
やっぱり、笑顔が
可愛いなと思った

じゃあ……また、
『ご奉仕』しても、
いいですか……？
ハァ…
……あぁ。
俺もしたい
だが……今度は、
条件がある

条件…
お、おまんこ、
ですか……？
ああ、そうだ
で、でも……
奴隷アナルのほうが、
おまんこより
気持ちいいですよ？
ご主人さま、レイのアナル、
とても気に入って
いただいたようですし……
それに……おまんこは、
もう、前のご主人さまに、
たくさん犯され
ちゃいましたから

……
……そんなの関係ない
俺は、お前とセックスがしたいんだ
ふぇ…
お前は俺の奴隷なんだから俺のことをたくさん気持ちよくして
……最後まで俺の面倒を見ろ！

……分かりました
ご主人様がその気なら……
レイは、ご主人様の心ゆくまで
ご奉仕させていただきます…♥

おまんこ…
しましょう？
ご主人様…
レイの
おまんこで
いっぱい……
気持ちよくなって
くださいね…♥
レイ……！

一息に、チンポを
マンコの中に挿入する

特に抵抗なく、
チンポはするりと入った

レイは俺の巨根を
難なくマンコで
銜え込んでいる
どころか、快楽を
貪るような表情だ
ゼクゼク
ゼクゼク
あ……っ、
すごい……♥
おちんちん、
おっきい……♥
こんなおっきな
おちんちん……
初めて、です……♥

だが、俺は……
何も言えなく
なっていた
なんだ、このマンコは。
ヒダの一本一本が、
チンポに絡みついてくる
精液を搾るように、
じゅくじゅくと
しごいてくる
にこ…
……っ

このマンコはまずい。
ここに中出ししたら、
二度と戻れなくなる……
だが、気づけば俺は、
腰を突き出していた
ムニュ
ムニュ
ご主人さま……♥
好きに動いて
ください……♥
ご主人様の
おちんちん、
ください……♥

気持ちいい……
もう、この雌を俺の
ものにしたい

あっんっ♡あッ♡
はっ♡んッ♡

俺は――こいつを、
孕ませたい。
そんな考えが
頭を支配していた

あっんっ♡
はっあっ♡
はっあぁっ♡

おまんこっ♥
おまんこ、
気持ちいいですっ♥

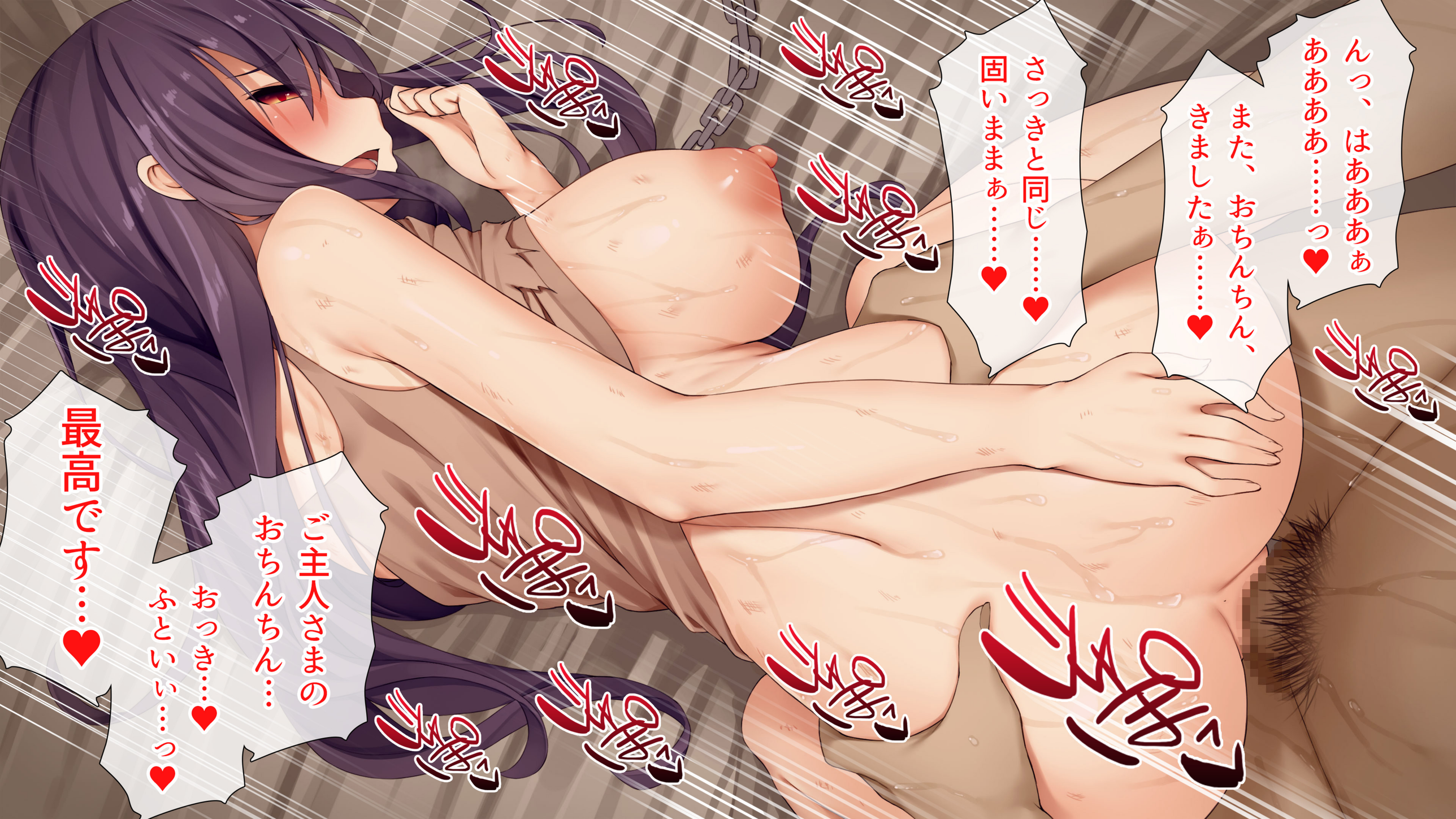
あっ♥
また、おちんちん、
おっきくなったぁ…っ♥
すごいです、
ご主人さまっ♥
おちんちん、
かたぁい……♥
レイ……っ♥
おまんこ、すぐ、
イッちゃいます…っ♥
俺も限界が
近づいていた
ビクビク
ビクビク
ビクビク

おほぉんっ♡
おほぉんっ♡
おほぉんっ♡

精液をマンコの
中に注ぎこむ
金玉の中身が全て
出てしまったのではないかと
思う量の射精だった
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ご主人さま……♥
すごい、です……♥
はぁ、はぁ、
はぁ……
おまんこ……
気持ちいい……♥
今までで……
一番…っ♥
ドクン…ドクン…
ドクン…ドクン…

精液は今ので全て
射精し尽くした
だが……俺は、
断ることが
できなかった
……でも、レイ……
まだ、足りないです…♥
もう一回……
いいですか……？

はい……♥
今度は、後ろから……♥
動物の交尾みたいに……
おまんこ、犯してください……♥
ヒゃ♪
ヒゃ♪
ヒゃ♪
俺のチンポは、まだまだ固いままだ…
言われた通り、後ろから……貫く……！


んっ、はあああぁ
あああ……っ♥
また、おちんちん、
きましたぁ……♥
さっきと同じ……♥
固いままぁ……♥
ご主人さまの
おちんちん…
おっき…♥
ふといぃ…っ♥
最高です…♥

あはっ♥
動いてください
ご主人さまぁ……♥
レイのおまんこ、
もっと犯してぇ……♥
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
んっ、あっ、
はあああああっ♥
さっきと、全然違う
角度です…っ♥
おちんぽ、もっと奥まで、
入ってくるの……っ♥
あぁぁぁ

レイの言う通り、
さっきとはまったく
違う刺激だった

交尾用の体位だからか、
チンポは先ほど以上に
すんなりと奥へと入る

だが、一度奥まで
差し入れると、
レイのマンコは咥えこんで
離してくれない

はぁあ…っ♥
本当に、交尾してる
みたい……♥
さっきの、
中出し精子で…♥
お腹、たぷたぷ
してます……♥
レイも…♥
また、イッちゃい、
そう……♥
ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅっ
レイが俺の手を
握ってくる
俺も手を
握り返す
ご主人、さまぁ…♥
おちんぽ離れないで、
ください……♥
どこかにいっちゃ、
ヤだぁ……♥

あっ♥
子宮っ、降りてきちゃいますっ♥
赤ちゃんのお部屋ぁ……♥
ご主人さま…っ♥
中出しぃっ♥
くださいぃ……♥
あっ、そう、そうです……♥
おちんぽミルクっ♥
おまんこに中出し…っ♥
イッ……

おおおお

あぁぁぁぁぁぁぁ♡

すごい……♥
また、ザーメン…♥

おまんこに、
いっぱぁい…♥

抜かずの二回だというのに、
信じられない量が出た

一秒ごとに、精液が
充填されていくようだ

ご主人さま…♥
おちんぽミルク、
ありがとう
ございます……♥
おまんこ、
温かい…♥
でも…
まだ、もうちょっと
だけ……おまんこ、
物足りないかも……
レイは、俺のことを
ご主人さまと呼ぶが…
これでは、まるで俺のほうが、
レイに奴隷のような
扱いを受けているように
感じてしまう…

体勢を入れ替えて、
ベッドにレイを組み敷く

はい、今度は
こちらの
体勢で…♥

ぐいっ

ぎゅ♪

ぎゅ♪

ぎゅ♪

ぎゅ♪

ぎゅ♪

ぎゅ♪

ぎゅ♪

ぎゅ♪

遠慮なく、
チンポを挿入した

んっ、はあああああああ……っ♥
あ……っ♥
すごい、ですよぉ、ご主人さまぁっ♥
おまんこするの、三回目なのにぃ…♥
まだまだ元気ぃ…っ♥
毎回、金玉が空になるまで射精しているはずなのに、
何故か俺のチンポは勃起し続けている
自分でも何故か分からない
けれど

なんでもいいですよぉ、ご主人さま♥
気持ちいいんですから……ねっ♥
ああ。そうだ。なんでもいい。気持ちいいのだから
レイとずっと、この気持ちのいいセックスが出来るなら…

ほらぁ♥
ご主人さまのおちんぽ、
こーんなに
おっきいんですから♥
まだまだ、
いけますよねー♥
レイのおまんこ……
犯し尽くしてぇ…♥

えへへ……♥
ご主人さま…♥
また、おちんぽ
イキそう
なんですねぇ……♥
おちんぽ、
震えてるの、
感じます……♥
マンコの肉が
ぎゅっと締まる
条件反射のように、
精液がチンポへ
あがってくる
イキそうになるの、
はやーい……♥
でも、レイ、
嬉しいな……♥
ビクビク
ビクビク
ビクビク

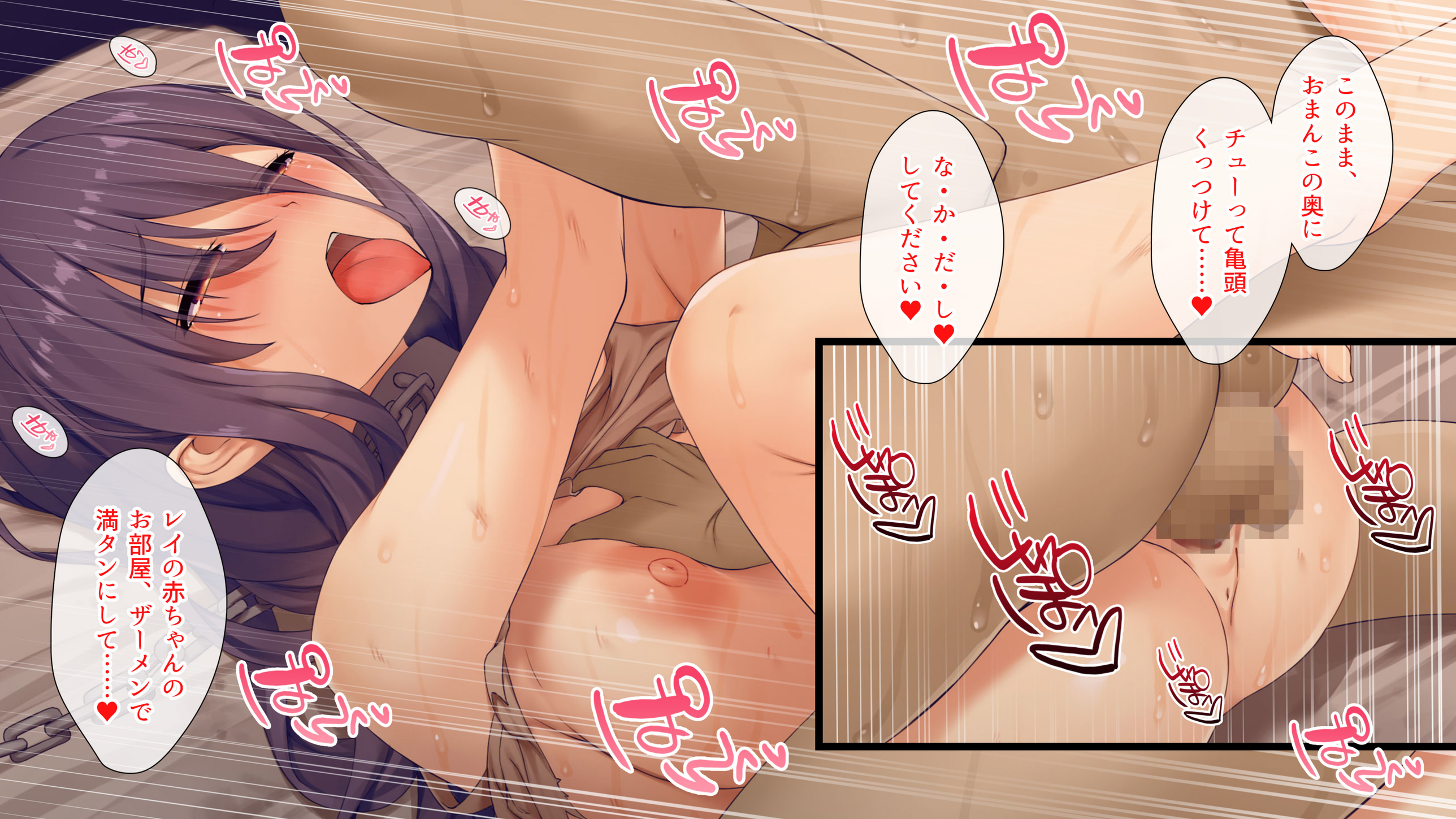
じゃあ……
ぎゅーー、です♥
ほら……♥
おまんこも

ずぽっ
ずぽっ
ずぽっ
ずぽっ

レイは、両足で、
俺の腰をがっちり
ホールドした

中出し以外は許さない、
と言わんばかりだ

ぢゅぷ♡
ぢゅぷ♡
ぢゅぷ♡
ぢゅぷ♡
ぢゅぷ♡


このまま、おまんこの奥にチューって亀頭くっつけて……♥
な・か・だ・し♥してください♥
レイの赤ちゃんのお部屋、ザーメンで満タンにして……♥
ぱんぱん
ぱんぱん
ぱんぱん

ピストンを
更に加速させる

レイに射精したい。
レイと一緒にいイきたい。
レイを孕ませたい…！

ふぁあぁ♡んッ♡
あぁ♡あぁ♡あっ♡

おまんこいいですっ♥
おまんこイッちゃうっ♥
おまんこおまんこっ♥

ご主人様の精子
全部レイの中に出してっ♥

ん…ッ♡
あ…っ♡
あっ♡
それぇ♡

ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡

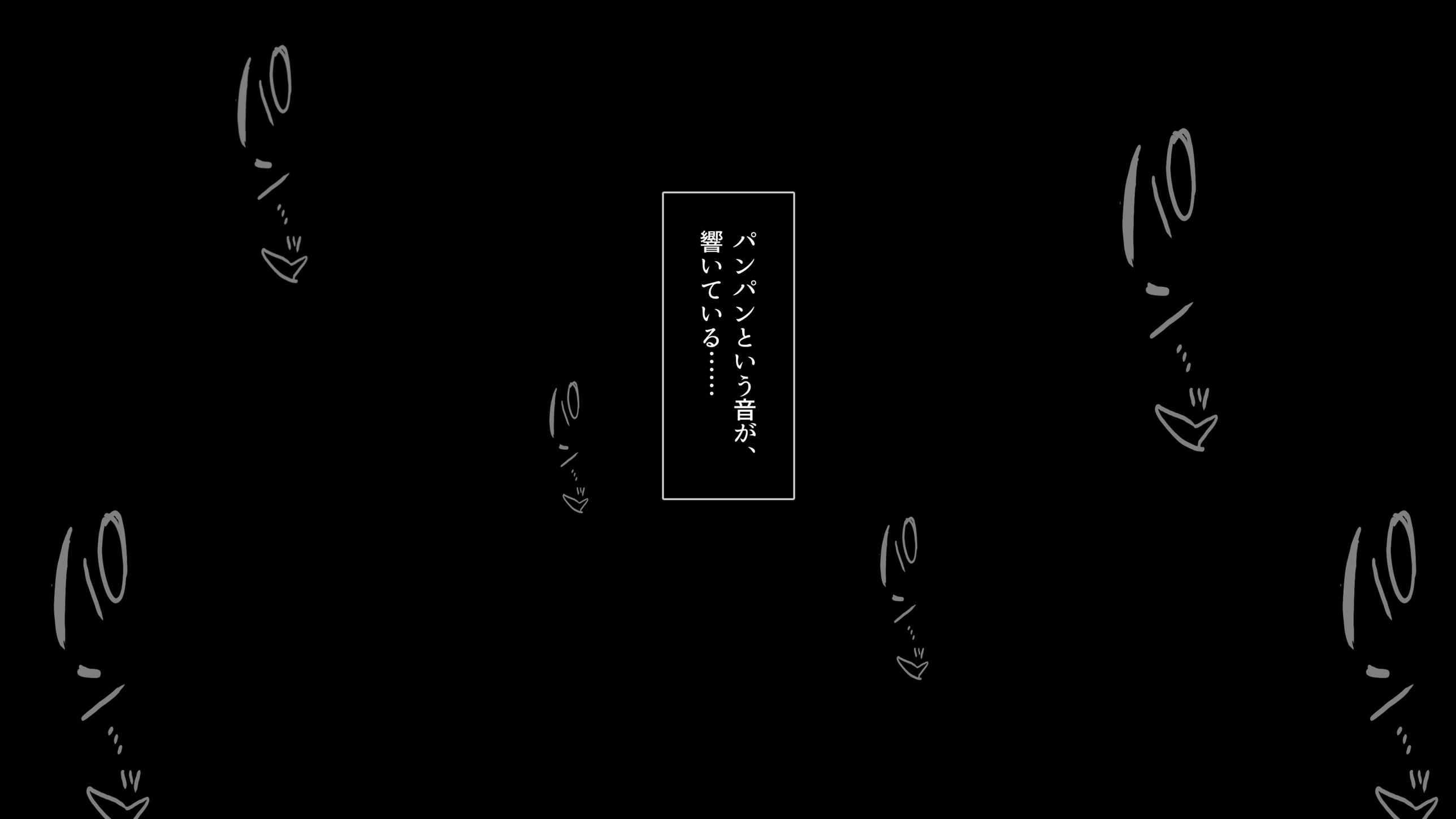
イクッ♡
あぁ♡
イクぅ♡
あぁンッ♡

ぴなる
あッ♡
はあああああ
あああああ…ッ♡
ぎゅるッ♡

全力で、レイの
マンコに精液を注ぎ込む
ドク…ッ、ドク…ッと
チンポから精液が
押し出されていくのを感じる
俺は腰を揺らして、
出したザーメンをレイの
子宮に向かって
押し込んでいく…

はぁ、はぁ、はぁ……♥
ご主人さま……♥
レイのこと、全力で孕ませる気ですね……♥
おちんぽ、おまんこの中でずーっとビクビクしてる…♥
ふふ…♥
ビク…ッ♥
ビク…ッ♥
ビク…ッ♥
ビク…ッ♥

あさーい魂胆が
見え見えですよぉ……♥
くす…♥
にぎ…♥
……調子に乗らないで
くださいねぇ♥


パンパンという音が、
響いている……

レイが俺の上に
のしかかって……

騎乗位で腰を
振っている……

おちんぽっ♥
ご主人さまのっ♥

んへぇっ♥んっ♥

きもちいい…♥

はぁっ♥
はぁっ♥はぁっ♥

おちんぽ、いい…♥
おちんぽ、
まだかたぁい…♥

さっきは少し、調子に乗りすぎでしたねぇ……♥
ダメですよぉ〜、ご主人さまぁ♥
ご主人さまは……変態マゾ豚男なんですからぁ♥
レイのことを征服なんてしちゃ、いけないんですぅ♥
レイのこと犯した気になってっ♥あははっ♥
無様ですね…っ♥
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡
ぐちゅぐちゅぐちゅ〜♡

あぁんっ♥
ご主人さまっ♥
いや、違う。これはただ、精液を搾りとられているだけだ……
種付け、させられている…
気持ちいいですよぉ♥
もっともっとおまんこしてあげますからね…っ♥

俺はそこでようやく、
自分が悲鳴をあげている
ことに気が付いた
ほら、ほら、
ほらぁっ♥
もっともっと、
泣いてくださいっ♥
ご主人さまはぁ、
アナル弄られて泣いちゃう、
女の子なんですからっ♥
ぱぁ
ぱぁ
ぱぁ

あぁ、うぁ、
うぁあああ……

もっとですっ♥
もっともっと♥
あははっ♥

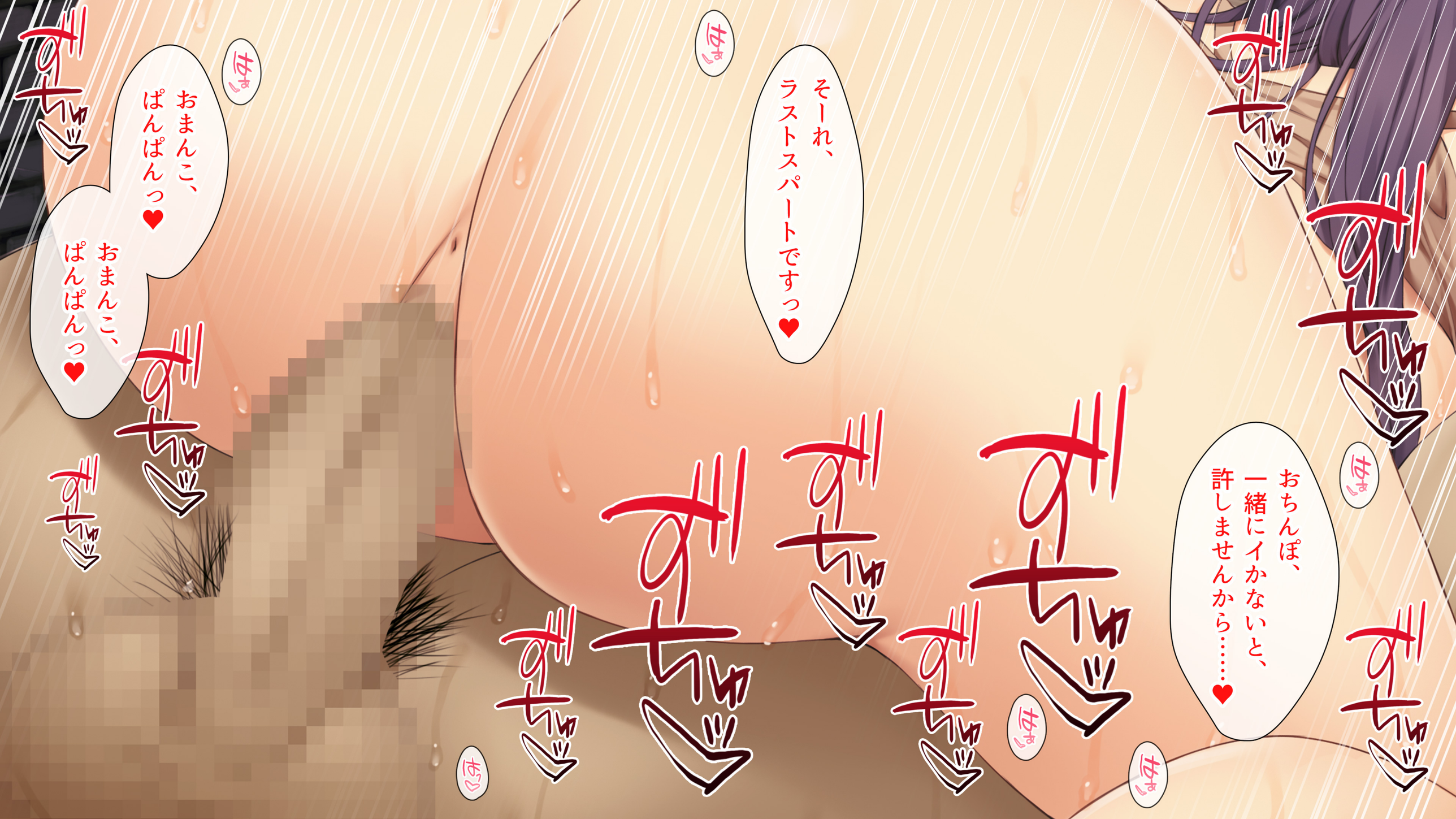
もう、気持ちいいの、
だめだ……やめて、
くれぇ……

イキすぎてチンポが辛い。
金玉が今度こそ空っぽだ
だけど、何故かまったく、
勃起が治まってくれない
ダメですよぉ～♥
ご主人さまのとりえは、
巨根チンポなんですからぁ♥
しっかり勃起させて
くれないと～♥
レイのおまんこ、
満足できな～い♥

ご主人さまっ♥
カワイイお顔…♥
奴隷市場で見た
奴隷ちゃんたちと、
おんなじ顔してます～♥
情けなくて汚くて、
泣いてばっかりで…
えっちなこと
されちゃっても
仕方ない顔♥

あはぁっ♥
その情けない声が、
一番おまんこ
興奮しますよぉ……♥
う、
う…！
もっと、なさけなーく
泣いてください……♥
泣いちゃえ♥
泣けっ♥
あぁっ、ああっ、
ぐあぁ……っ

また、おまんこ、イキそうです……♥
ねぇ、ご主人さま……？レイが、おまんこイキそうになってるんですから……♥
どうすればいいのか、分かりますよねぇ……♥
ぢゅぷ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
あんっ♥あっ♥あっ♥

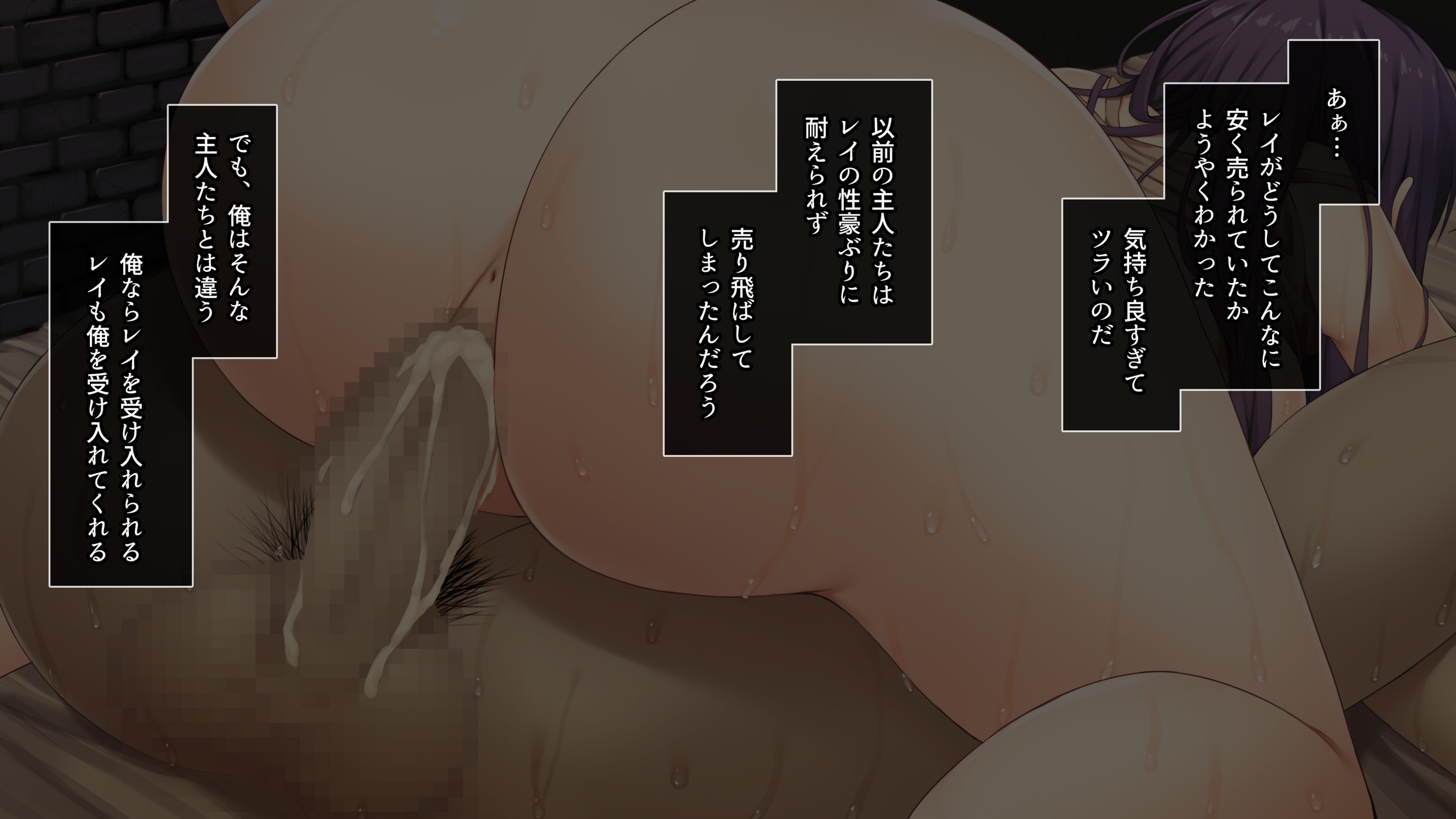

ずちゅっ
ずちゅっ
ずちゅっ

イけっ
イけっ
種付けミルクで、
おまんこに
中出しして……
パパに
なっちゃえー♥
奴隷に抵抗できないまま、
種付け敗北射精させられた……
なさけなーい
パパになっちゃえっ♥♥

ぶるるる

はぁ、はぁ、はぁ……♥
気持ちよかったぁ……♥
あ、おちんぽもちゃんと、イッたんですねぇ……♥
偉いですよぉ、ご主人さまぁ……♥
う、あぁ……ああ……

また気絶ですか？
もぉ～…
まぁ、まだおちんぽ
元気みたいですし
べつに、いっかー…♥
ぬちゃ…♡
ぬちゃ…♡
ぬちゃ…♡
はぁ…
はぁ…
はぁ…
……あ。
ご主人様…？


あぁ…
レイがどうしてこんなに
安く売られていたか
ようやくわかった
気持ち良すぎて
ツラいのだ
以前の主人たちは
レイの性豪ぶりに
耐えられず
売り飛ばして
しまったんだろう
でも、俺はそんな
主人たちとは違う
俺ならレイを受け入れられる
レイも俺を受け入れてくれる

膣内にもアナルにも
射精をし続けた
それから俺は
気が狂ったように
レイとセックスを続けた
ずっとこのままで
いたい……
レイと、
ずっと一緒に
居られたら……
レイ…

数か月後――
あぁ……っ♥
そこ、いいですっ♥
おちんぽ、いい……♥
今日は、お腹も
大丈夫ですから…
いっぱい、おちんぽ、
ちょうだぁい……♥
ずちゅ♡
ずちゅ♡
ずちゅ♡
ずちゅ♡
ずちゅ♡

俺の子を妊娠したレイは
顔も体つきも
ふっくらとしてきた
お腹も、すっかり
大きくなっている
あと少しすれば
産まれるだろう
んこっ♥
えへへ……♥
えっちは、やっぱり、
いいですね……♥
パンパン
パンパン
パンパン

妊娠が発覚してからも
レイは毎日のように
セックスをねだった
流石に安定期に入るまでは
ダメなので、俺もレイも
お互いに我慢していたが…
あっ♥
あぁんっ♥
いいっ♥
久々のおちんぽぉっ♥
ご主人さまぁ♥
あぁああ…ッ♥
ヤ
ヤ
ヤ
今日は、
セックス解禁デーだ

おちんぽ
赤ちゃんにご挨拶ピストンッ♥
おちんぽで奥トントンきもちひっ…♥
ママなのにおまんこメス穴のままなんてっ♥
赤ちゃん産まれてくる道おちんぽでいっぱいっ♥
んあぁっ♥おっぱいぃ♥母乳でちゃいまひゅうっ♥

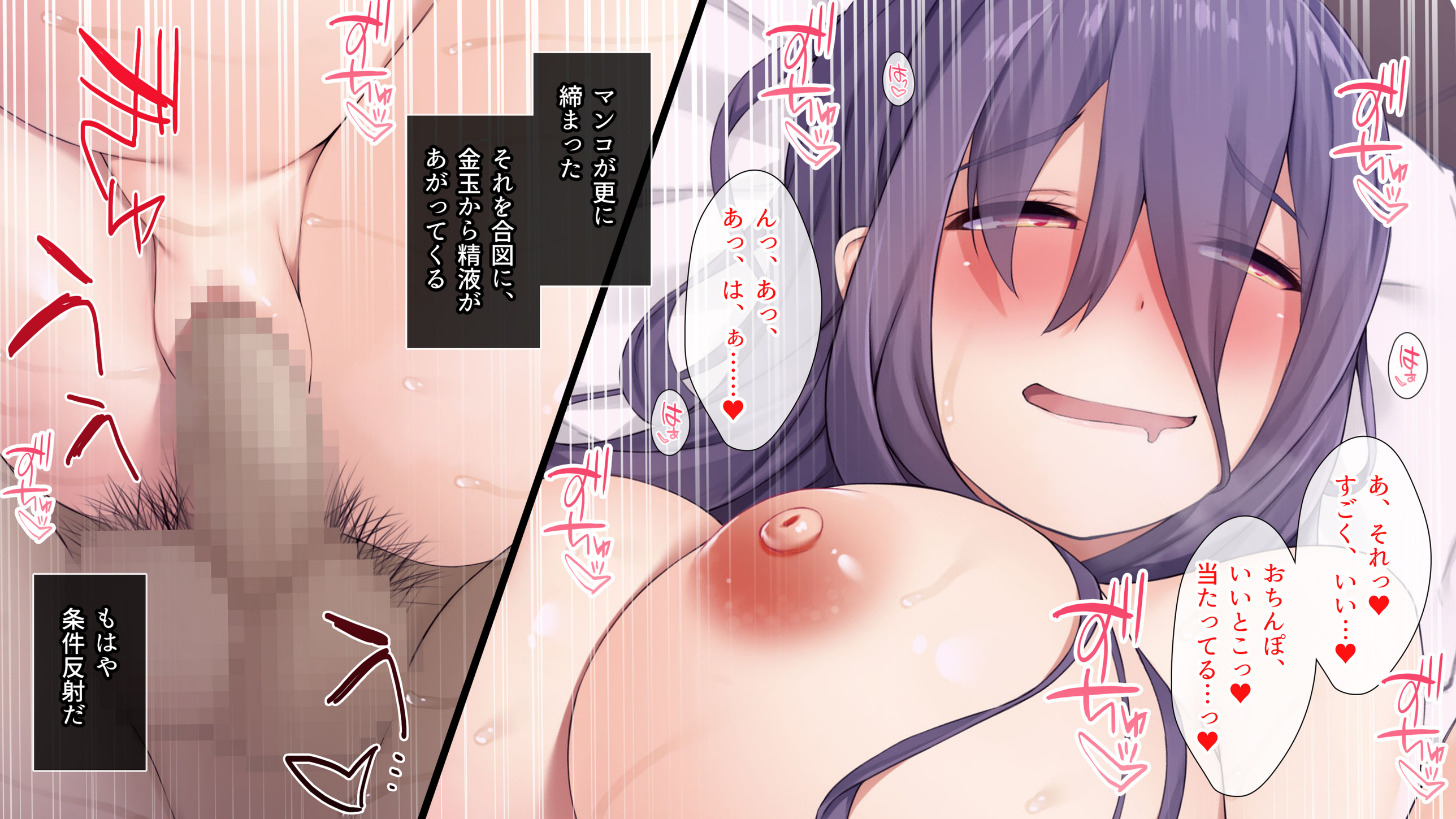
はぁ、はぁ、
はぁ……♥
ねえ、
ご主人さま…♥
赤ちゃん産まれたら…
どんな風に暮らしますか？
くっ、
おい締め…っ！
ふふっ、
真面目に答えて
くれなきゃヤですよお♥

家は、もう少し広いほうがいいですよね…♥
あとは…人があんまり多くない、静かな場所……
街の外にお引越ししたいです…っ♥
そ、そうだな…っ
あ♥おちんぽイきそうになってる♥
ビクッ…♡
ビクッ…♡
ビクッ…♡

それに……
周りの目を気にする
必要ないから……
いつでもどこでも、
おまんこえっち
し放題です♥
念願の青姦プレイも
出来ますよぉ…♥
もちろん、子育てが
最優先には
なりますけど…♥
ね……
パパ…♥

『パパ』か…
俺ももう、父親になるのか
元々は自分の性欲を満たすために性処理オナホとしてレイを買ったが
こんなに身体の相性がよく、俺を受け入れてくれる存在だとは思っていなかった
俺のデカすぎるチンポも、レイなら受け止めてくれる…

レイは俺を認めてくれる、
欲してくれる
これからもレイと
ずっと一緒に
居たい……
レイ…
レイ…


ずちゅ
ずちゅ
はぁ♡
んっ、あっ、
あっ、は、ぁ……♥
ずちゅ
はぁ♡
ずちゅ
あ、それっ♥
すごく、いい…♥
おちんぽ、
いいとこっ♥
当たってる…っ♥
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
マンコが更に
締まった
それを合図に、
金玉から精液が
あがってくる
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
もはや
条件反射だ

パパっ♥
ほらほらパパぁ♥
中出ししなきゃぁ…♥
おまんこに
中出ししてっ♥
赤ちゃんに精液の匂い
覚えさせてあげてっ♥
イクッ
イクッ
ガクッ
ガクッ
ママなのにっ♥
おまんこで…♥
イクぅぅぅぅッ

あああああ!!!
あああああ
あああああ
精子きたぁぁ
ぴゅるるるッ
ぴゅッ
ぴゅ〜ッ

はぁ…♥
やっぱり、
セックス…♥
気持ちいい…♥
おちんぽ
最高ぉ…っ♥
ふふ…♥
ご主人様の
おちんぽは…
ずーっと…♥
レイのもの
ですよぉ……♥

そうだ、
俺はレイのもの
レイも、
俺のものだ
俺のことをこんなにも
満たしてくれるレイ
そんなレイのことが、
愛おしくて
たまらない……

ふふ♥
疲れちゃいました？
休憩なんかダメですよ、
今日は久しぶりの
えっちなんだから…♥
ほら、続きを
しましょう♥
あ、
えーと…
またアナル責め
しましょうか？
それとも
イったあとの
敏感おちんぽに
お掃除フェラ？
も～
優柔不断
なんだから♥

そんなんじゃ、赤ちゃんに嫌われちゃいますよぉ♥
…あなた♥
……!!

『あなた』と呼ばれたのは
初めてだった
俺は本当に、レイの夫に、
そしてお腹の子の父親に
なるのだ
願わくば、ずっと
レイと一緒にいたい

ねえ、
あなた…♥
ずーっと、
一緒にいて
くださいね……♥
あぁ…
勿論だ…！
ずーっと…♥
ふふ…♥
Fin.